

担当教員：小島

2017年度人間環境学部キャリアチャレンジⅡ期
コース名：「東京の森と都市をつなぐ“木育”普及プロジェクト・インターン」

追加募集

上記のコースについて追加募集を行います。

1. 追加募集人数：1名
2. 追加募集期間：2017年12月21日（木）～2018年1月10日（水）

志望調査票をHPから取得するか、58年館1階の学部窓口で受け取り、記入の上、学部窓口
に提出してください。

3. 面接：応募者と調整します。
4. 事前研修は1月18日（木）を予定していますが、参加者と調整します。

以下は、一次募集の際の情報提供内容です。

① 目的

山梨県を源流として東京湾に注ぐ多摩川流域には山村から大都市まで様々な地域があります。多摩川上流域の東京都奥多摩町は豊かな森林が広がる東京都の水源地域です。しかし、下流域の都市への、水をはじめとする多様な生態系サービスを保全するためには、地域をこえた関係性の構築が不可欠です。

そこで本コースは、奥多摩地域の森林の保全事業、特に木材の東京都市部における利用を促進するソーシャル・ビジネスに取り組む企業への研修を通して、持続可能な地域社会を担うビジネス人材を想定したキャリア形成への機会とします。もちろん、自治体職員やその他の公的機関、NPOなどで活躍人材も想定しています。

② 受け入れ団体

株式会社東京・森と市庭

③ 対象学生と条件

2017年度の2～3年生及び2018年度に2年次に進級予定の2017年度の1年生を対象とします。法政大学人間環境学部の学生としてソーシャル・ビジネスのミッションを理解し、誠実に研修に取り組む意欲があることが必須条件です。

④ 実施日・実施場所と研修の概要

木材の産地である東京都奥多摩町と東京都港区の六本木オフィスに通いながら、東京都町田市内の団地における防災イベントを利用した木育普及プロジェクトの企画運営に携わります。全行程、日帰りです。

12月5日の説明会で配布した受け入れ企業の説明資料（別紙）と受け入れ企業のHPも参照して下さい。

実施日と実施場所は以下のとおりです。

2月：①2月14日（水）、②15日（木）、③21日（水）、④22日（木）、⑤28日（水）
3月：⑥3月9日（金）、⑦10日（土）、⑧11日（日）、⑨14日（水） 合計9日間

※2月14日・22日・28日が奥多摩本社、2月15日・21日、3月14日が六本木オフィス、
3月9日・10日・11日が町田市の町田山崎団地です。

※行程は、プログラムの企画運営上の都合により変更になることがあります。

※学生の出勤に配慮して、奥多摩本社は11時以降の集合を予定しています。

※2～3月の研修には、担当教員が巡回する予定です。

※2018年4月に事後研修を行う予定です（詳細は未定）。

⑤費用

現地までの交通費と昼食費です。

問い合わせ先

何か問い合わせたいことがある場合は、担当教員の小島（skojima@hosei.ac.jp）までメールでお願いします。

コース名：東京の森と都市をつなぐ“木育”普及プロジェクト・インターン

■受け入れ団体：株式会社東京・森と市庭

■担当教員：小島聡

■内容：

2018年3月10日・11日 UR都市機構と良品計画（無印良品）が主催する集合団地の防災イベント「団地キャラバン in 町田山崎団地」での木育体験コーナーの企画・準備・運営等。



■受け入れ人数：3名

<勤務場所>

■奥多摩本社・製材加工所：東京都西多摩郡奥多摩町氷川 1075

（奥多摩駅から車で5分）※新宿駅から奥多摩駅までは中央線・青梅線を乗り継いで約2時間、片道1,080円。

■六本木オフィス：東京都港区六本木7-3-13 トラスティ六本木ビル5階

（六本木駅から徒歩5分）

■町田山崎団地：東京都町田市山崎町2130番地付近（町田駅からバスで15分）

■スケジュール（9日間）※日程が若干変わる場合もあります。

【2月】

14日（水）オリエンテーション@奥多摩本社

15日（木）企画検討会議@六本木オフィス

21日（水）企画決定会議@六本木オフィス

22日（木）団地キャラバン材料調達@奥多摩本社・社有林

28日（水）団地キャラバン準備@奥多摩本社

【3月】

9日（金）団地キャラバン前日準備@町田山崎団地

10日（土）：団地キャラバン本番@町田山崎団地

11日（日）：団地キャラバン本番@町田山崎団地

14日（水）：振り返り会@六本木オフィス



おくたまの森（社有林）



奥多摩湖（小河内ダム）



製材加工所



多摩産材



奥多摩本社



六本木オフィス

森とあそび 木とくらす



東京・森と市庭

MORI & ICHIBA TOKYO

担当：菅原和利

携帯：080-7735-4393

MAIL：sugawara@mori2ichiba.tokyo.jp

WEB：http://mori2ichiba.tokyo.jp/

Facebook：/mori2ichiba/

■東京・森と市庭について



2013年4月に奥多摩の地で江戸の昔から森を育ててきた林業家と、住宅やオフィスなど都市の暮らし関わるまちづくりコンサルティング会社、WEB不動産仲介会社などと共に株式会社東京・森と市庭を立ち上げました。私たちの使命は東京の都市と森をつなぎ、持続可能で豊かな森と都市をつくっていくことです。無機質な都市空間の中に東京の木を取り入れることができる商品を自ら製造・開発しています。また、奥多摩の社有林を活用した様々な林業・木育体験プログラムを開発し、保育園児から企業人まで森林について学ぶ研修・体験プログラムを提供しています。

■担当プロフィール（法政大学人間環境学部 2010年卒）



菅原 和利

株式会社東京・森と市庭 営業部長

1987年生まれ、神奈川県小田原市出身、東京都奥多摩町在住。

在学時は関口ゼミ（哲学）、CESゼミ（千代田区環境政策）、水と緑フォーラム・HOSEI（地域づくり）、SEET（環境教育）、オープンキャンパス学部企画スタッフ、市ヶ谷ボランティアセンター立ち上げなどに関わる。在学時から奥多摩町でまちづくりに取り組み、卒業後は同町へ移住。

空き家のシェア別荘化事業やアウトドアウエディング事業などを行う地域プロダクション会社を23歳で起業。その後、不動産営業を経て株式会社東京・森と市庭へ合流。

同社では保育園向けに東京産の杉・檜を活かした商品開発・営業や奥多摩での林業・木育体験などを担う。